

精神保健福祉施策について

目 次

1. 精神保健福祉相談・訪問等件数	1
2. 普及啓発・教育研修	3
3. 依存症対策	5
4. 精神医療審査会・判定会議	7
5. 新潟市ひきこもり相談支援センター	11
6. 精神科救急医療対策事業	13
7. 措置入院	21
8. 受診勧奨	23
9. 精神障がい者地域移行・地域定着支援事業	25
10. 精神保健福祉関係事業歳出予算	27

1. 精神保健福祉相談・訪問等件数

(1) 相談・訪問の実績年次推移

	相談延件数				訪問延件数 ※()内は受診勧奨件数			
	総数	こころの健康センター	精神保健福祉室	区役所(保健師)	総数	こころの健康センター	精神保健福祉室	区役所(保健師)
平成26年度	10,344	5,069	429	4,846	2,118	12	181 (51)	1,925
平成27年度	11,189	4,367	475	6,347	1,774	4	174 (63)	1,770
平成28年度 (H28.4月～H29.1月)※1	8,773	3,797	260	4,716	1,641	0	132 (44)	1,641
平成28年度(見込み) ※1÷10ヶ月×12ヶ月	10,528	4,556	312	5,659	1,969	0	158 (53)	1,969

(2) 措置入院・自立支援医療・精神障害者保健福祉手帳の年次推移

	措置入院 通報件数	自立支援医療(通院医療 公費負担制度) 利用者数	精神障害者保健福祉手帳所持者数			
			総数	1級	2級	3級
平成26年度	143	9,771	4,996	724	3,914	358
平成27年度	158	10,890	5,137	705	4,062	370
平成28年度 (H28.4月～H29.1月)※1	141	10,872	5,656	740	4,520	396
平成28年度(見込み) ※1÷10ヶ月×12ヶ月	169	13,046	6,787	888	5,424	475

(3) 精神保健福祉相談実績(こころの健康センター分)

来所相談

相談名	開催日	平成26年度			平成27年度			平成28年度(1月まで)		
		開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数 (年間回数)	実人数	延人数
精神科医による精神保健福祉相談	毎週木曜日	52	49	63	52	65	83	39(48)	51	62
精神科医による高齢者精神保健福祉相談	第2火曜日・第4木曜日	24	18	21	24	16	18	19(23)	14	15
精神科医による思春期青年期相談	偶数月の第2木曜日	6	9	10	6	7	8	5(6)	6	6
酒害相談員による酒害相談	第1・3月曜日	20	7	8	18	15	15	17(20)	8	8
臨床心理士によるうつストレス相談	毎週土曜日	48	37	47	48	51	57	41(48)	27	34
小計			120	149		154	181		106	125
精神保健福祉相談員による精神保健福祉相談	月～金曜日		181	347		137	255		157	287
合計			301	496		291	436		263	412

電話相談

相談名	開催日	平成26年度			平成27年度			平成28年度(1月まで)		
		実施回数	実人数	延人数	実施回数	実人数	延人数	実施回数	実人数	延人数
精神保健福祉相談員による精神保健福祉相談	月～金曜日		1,482	4,573		1,416	3,931		1,327	3,385

2. 普及啓発・教育研修

平成28年度

(1) 市民向けの講演会等

ア 記念講演会

新潟県精神保健福祉協会新潟市支部と共催

【テーマ】「笑い与健康 面白噺」

【講師】水都家 艶笑 氏

【参加者数】 64人

イ 市民講座

新潟県精神保健福祉協会新潟市支部と共催で、2回開催

<第1回>

【講演会】「統合失調症の基礎知識」

【講師】新潟大学医歯学総合病院精神科 准教授 鈴木 雄太郎 氏

【参加者数】 81人

<第2回>

【講演会】「発達障がい者と向き合う」

【講師】認定NPO法人 にいがたオーティズム 理事長 角田 千里 氏

【参加者数】 100人

ウ 出前講座

15回開催し、延766人が参加。

エ 新潟市民健康福祉まつりへの参加

- ・ブースを設置し、アルコールパッチテストを実施。延587人。
- ・依存症関連ポスター掲示、パンフレットを配布。

(2) 精神障がい者（家族）に対する教室等

ア 家族教室

- ・アルコール、薬物依存症の当事者の家族を対象とした家族教室を開催。
- ・平成26年度より継続。平成27年度から、新潟県と共催。
- ・5回1コースで開催。
- ・参加は、11家族。延49人。

イ 薬物依存治療・回復プログラム

- ・薬物依存症の当事者を対象とした治療・回復プログラムを開催。
- ・今年度より、新潟県と共催で開催。
- ・5回1コースで開催。
- ・参加者は、実10人。延29人。

(3) 支援者に対する教育研修

ア 精神保健福祉業務基礎研修

年2回開催

<第1回>

【内容】相談支援に役立つ精神疾患の基礎知識等

【講師】こころの健康センター職員

【参加者数】 56人

<第2回>

【テーマ】「面接相談の基礎知識～明日から使える面接技法～」

【講師】新潟市総務部職員課 高井 恵氏、神田 優衣氏、岡田 淳子氏

【参加者数】 20人

イ 精神保健福祉業務専門研修

テーマを決め、年2回開催

<第1回>

【テーマ】「統合失調症の基礎知識」

【講師】新潟大学医歯学総合病院精神科 准教授 鈴木 雄太郎 氏

【参加者数】 94人

<第2回>

【テーマ】「発達障がいの基礎知識」

【講師】新潟市発達障がい支援センター 所長 宮島 祐司 氏

【参加者数】 88人

ウ 新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修

新潟県新潟地域振興局との共催で、年1回開催

【情報提供】「新潟県における高次脳機能障害者支援の動向
～家族支援や自動車運転再開支援など～」

【提供者】新潟県高次脳機能障害相談支援センター
相談支援コーディネーター 土田 瑞峰 氏

【講義】「高次脳機能障害とは」

【講師】脳神経センター 阿賀野病院 副院長（神経内科） 青木 賢樹 氏

【参加者数】 59人

3. 依存症対策

(1) 相談支援

- ・ 依存に関する相談を実施。
- ・ 専門相談として、アルコール問題に関する「酒害相談」を月2回実施。

(2) 普及啓発・教育研修

新潟市民健康福祉まつりにて、ブースを設置し、アルコールパッチテストと依存症関連のポスター掲示、パンフレット配布を実施。

(3) 家族教室

- ・ 平成26年度より、アルコールと薬物依存をテーマとし開催。
※平成27年度からは、新潟県と共催。
- ・ 平成26度は8組、平成27年度は10組、平成28年度は11組の家族が参加。
- ・ 内容は、全5回コースとし依存症の知識や接し方、家族自身の健康などについて、テキストを使用し、家族同士が課題について話し合い学んでいく心理教育プログラム。
- ・ 薬物依存症の家族会の世話人より講師・助言者として参加していただき、また、断酒会の当事者と家族より協力参加していただき、家族会などにつながりやすくなるよう配慮している。
- ・ 平成27年度からは、依存症の家族教室に参加した人を対象に交流会を、年1回開催。各年度からの参加応募があった。家族教室終了後も近況などを語り合う場を提供している。
- ・ 参加者は、薬物依存では親が多く、アルコール依存では配偶者が多い傾向。
- ・ 平成26年度、平成27年度は違法薬物の依存の家族が参加していたが、平成28年度は、薬物依存では違法薬物は0。処方薬・市販薬の2組で、残りはアルコール依存だった。
- ・ 平成29年度以降も継続して実施していく予定。

※参考資料1-1参照

参加者数

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
家族数(実人数)	8組(11人)	10組(12人)	11組(14人)
延べ人数	35人	47人	49人

(4) 薬物依存治療・回復プログラム

- ・平成28年度より、薬物依存を抱える当事者を対象とした治療・回復プログラムを開催
- ・新潟県と合同開催で、新潟県が主に運営。新潟ダルク責任者より進行補助として従事してもらった。
- ・内容は、全5回で依存症の知識、自身の引き金と欲求について、再発予防など依存症からの回復のための対処方法などについて、テキストを使用し、当事者同士が話し合いながら課題に取り組み、学んでいくプログラム。
- ・最終日には、参加者へ「修了証」を配布し、回復のための努力を評価した。
- ・テキストは、国立精神神経医療研究センター松本俊彦先生らが作成した「スマープ16」を抜粋して使用。
- ・平成28年度は、初めての試みの為、対象を新潟ダルク入寮者と保護観察所からの紹介者のみと対象を限定して行った。
- ・参加者は実10名（延29名）。保護観察所の紹介者は1名だった。
- ・依存対象は、覚せい剤、大麻、LSD、シンナー、ヘロイン、危険ドラッグ、処方薬、市販薬、コカイン、アルコールと多様であった。依存対象が複数ある参加者がほとんどだった。

※参考資料1-1（裏面）参照

(5) 他機関との連携

- ・薬物依存症支援について、他機関との情報交換の場（はばたきネット）への出席。
- ・新潟保護観察所との刑の一部執行猶予制度に伴う「地域支援ガイドライン」を平成27年度中に新潟保護観察所及び新潟県と作成し、平成28年度7月の「薬物事犯者等地域支援連絡協議会」にて発出した。

※参考資料1-2参照

※参考資料1-3参照

4. 精神医療審査会・判定会議

(1) 精神医療審査会 審査実績 ※平成28年度実績は1月末現在の実績

開催状況

	合議体		總會	
	回数	出席委員	回数	出席委員
27年度	18	84	1	11
28年度(4月～1月)	15	69	1	9

退院等請求審査

区分	前年度繰越	請求件数	審査件数	審査結果				意見聴取件数	取り下げ件数	退院等審査要件の消失	審査中	平均処理日数
				現在の入院形態による入院又は処遇は適当	他の入院形態への移行が適当	病状等について報告を求めることが適当	入院又は処遇は不適当					
退院請求	27年度	4	64	41	0	0	0	31	14	6	7	34.7
	28年度	7	54	39	0	0	0	31	10	8	4	32.8
処遇改善請求	27年度	1	25	13	/	/	0	10	6	2	5	35.9
	28年度	5	23	15	/	/	0	13	8	4	1	36.7
合計	27年度	5	89	54 (3.0)	0	0	0	41	20	8	12	35.0
	28年度	12	77	54 (3.6)	0	0	0	44	18	12	5	33.9

注1) 28年度は4月～1月実績。下段()は1回あたりの審査件数。

注2) 6ヶ月以内の複数回請求: 審査後、意見聴取実施せず 27年度: 13件(退院: 10件, 処遇: 3件), 28年度: 10件(退院: 8件, 処遇: 2件)

請求を受理してから審査結果を通知するまでの期間

年度	区分	日数別の件数					合計	平均
		30日以内	31日以上 ～ 40日以内	41日以上 ～ 60日以内	61日以上 ～ 90日以内	91日以上		
27年度	退院請求	15件	16件	10件	0件	0件	41件	34.7日
	処遇改善請求	3件	5件	5件	0件	0件	13件	35.9日
28年度	退院請求	18件	12件	8件	1件	0件	39件	32.8日
	処遇改善請求	6件	4件	4件	1件	0件	15件	36.7日

書類審査

区分	審査件数	(うち、審査継続件数)	審査結果				実地審査件数	意見聴取件数	審査継続中
			現在の入院形態による入院は適当	他の入院形態への移行が適当	病状等について報告を求めることが適当	入院継続又は処遇内容は不適当			
医療保護入院届	27年度	1,442	25	1,442	0	0	0	0	0
	28年度	1,299	54	1,297	0	0	0	0	2
定期病状報告	措置	27年度	1	0	1	0	0	0	0
		28年度	5	1	5	0	0	0	0
	医療保護	27年度	1,355	33	1,355	0	0	0	0
		28年度	1,088	43	1,087	0	0	0	0
合計	27年度	2,798 (155.4)	58 (3.2)	2,798	0	0	0	0	0
	28年度	2,392 (159.5)	98 (6.5)	2,389	0	0	0	0	3

注1) 28年度は4月～1月実績。()は1回あたりの審査件数。 注2) 28年度審査結果件数は、現在審査継続中の案件を除く

審査実績年次推移

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
審査会開催回数	18	17	18	18	18	18	18	18	18	15
退院等請求審査件数	37	22	33	28	33	42	38	54	54	54
入院届審査件数	1,276	1,349	1,273	1,238	1,263	1,192	1,307	1,482	1,442	1,299
定期病状報告書審査件数	1,333	1,349	1,380	1,369	1,412	1,473	1,412	1,407	1,356	1,093

退院等請求相談電話の受理状況

	件数	内訳		
		入院者本人	家族等	その他
27年度	220	210	2	8
28年度(4月～1月)	186	181	2	3

(2) 判定会議 判定実績(精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療費)

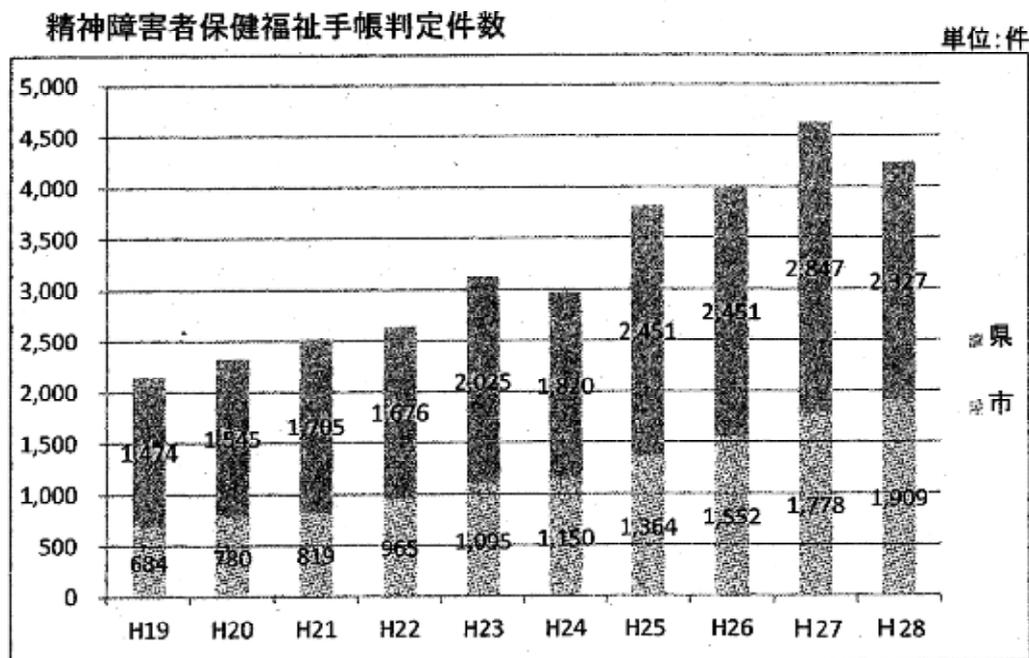
ア 精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療の判定医体制

(ア) 判定医体制 6名

(イ) 判定会議開催回数

毎月2回開催, 年間24回開催。平成19年度から県と市で共同開催。

イ 精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療実績



※平成28年度は4月から1月までの数字

平成28年度 精神障害者保健福祉手帳判定結果

単位: 件

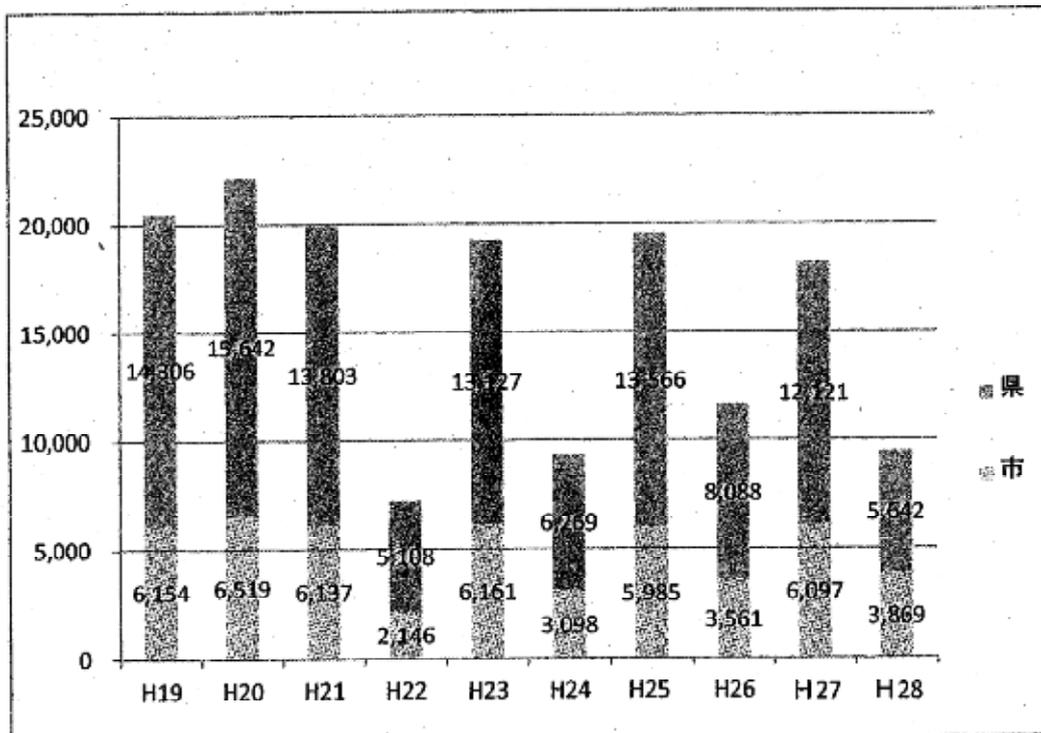
内訳	適			非該当	判定不能
		1497(99.14%)			1(0.73%)
	1級	2級	3級		
	136	1277	84		

※平成28年4月から平成29年1月までの新潟市分の判定結果。

1枚の診断書を複数回判定する場合があるため, 判定件数と判定結果は一致しない。

自立支援医療(精神通院医療)、通院医療費公費負担判定件数

単位:件



※平成28年度は4月から1月までの数字

判定件数の急増, 急減は診断書更新期間の変更によるもの。

平成17年度までは2年に1回であったが, 18年度から21年度は1年に1回となり, 22度からは2年に1回に戻った。

平成28年度 自立支援医療(精神通院医療)判定結果

単位:件

適	非該当	判定不能
3083(99.77%)	6(0.19%)	1(0.03%)

※平成28年4月から平成29年1月までの新潟市分の判定結果。

1枚の診断書を複数回判定する場合がありますため, 判定件数と判定結果は一致しない。

5. 新潟市ひきこもり相談支援センター

(1) 事業趣旨

新潟市におけるひきこもりの支援を推進し、その長期化を防ぐため、ひきこもりに関する総合的な窓口として「新潟市ひきこもり相談支援センター」を設置する。

(2) 開始日 平成23年8月1日

(3) 開設日時 火曜日～土曜日 9時～18時

(4) 運営形態 「ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟」に事業を委託

(5) 設置場所

新潟市万代市民会館5階（中央区東万代町9-1）

~~生涯学習課~~が所管する「新潟市若者支援センター オール」と同フロアに開設

正：地域教育推進課

(6) 活動内容

- ・相談支援（電話、面接、メール等）
- ・アウトリーチ（訪問支援）
- ・各種プログラム（居場所、保護者会など）
- ・ひきこもり支援連絡会の開催
- ・情報発信、普及啓発

(7) 職員体制

H23年度：事業責任者1名、支援コーディネーター2名（常勤職員1名、非常勤職員1名）

H24年度：事業責任者1名、支援コーディネーター2名（常勤職員1名、非常勤職員1名）

H25年度より：事業責任者兼支援コーディネーター1名

支援コーディネーター3名（常勤職員2名、非常勤職員1名）

(8) 事業実績

ア 相談・訪問件数

	相談延べ件数					相談者の内訳			訪問件数	
	電話	面談	メール	所外	相談計	本人	保護者	その他	実	延
H26年度(4~3月)	404	687	56	39	1186	475	539	172	75	320
H27年度(4~3月)	389	804	28	73	1294	613	516	165	74	286
H28年度(4~1月)	352	707	4	49	1112	512	424	176	71	368

イ 居場所等プログラム

	開催回数	参加者内訳		
		本人	保護者	合計人数
H26年度(4~3月)	51	225	44	269
H27年度(4~3月)	52	372	52	424
H28年度(4~1月)	53	331	59	390

ウ 新潟市ひきこもり相談支援センター支援連絡会

・目的

新潟市ひきこもり相談支援センター事業実施要綱第4条(4)に基づき、本市におけるひきこもり支援に関する課題の整理や情報交換、事例検討等を行い、各機関による恒常的な連携を確保するため、医療・保健・福祉・教育・労働等の関係機関からなる「新潟市ひきこもり支援連絡会」を設置する。

・構成員

ひきこもり・サポートネットにいがた、NPO法人KHJにいがた「秋桜の会」
NPO法人 にいがた若者自立支援ネットワーク伴走舎、
新潟地域若者サポートステーション、
新潟青陵大学 不登校・ひきこもり研究会、新潟翠江高校
新潟県ひきこもり相談支援センター、新潟市発達障害支援センター JOIN、
新潟市(各区健康福祉課、障がい福祉課、若者支援センター、教育相談センター、
明鏡高校、こころの健康センター)、新潟市ひきこもり相談支援センター

・開催日 平成28年7月4日

・会場 新潟市総合保健医療センター

・内容 新潟市ひきこもり相談支援センター事業実績報告
事例紹介・意見交換

・参加人数 31人(うち事務局4人)

6. 精神科救急医療対策事業

(1) 事業概要

【目的】

- ・ 平日夜間、休日全日において県内の精神科医療機関が輪番で救急体制を確保
- ・ 精神科救急情報センター、精神医療相談窓口を運営し、円滑な受診体制を構築

ア 病院群輪番制による救急体制の確保

休日昼間は5ブロックに分け、夜間は県内を南北2ブロックに、各ブロックの精神科病院が持ち回りで救急当番を行う。

休日昼間	新潟佐渡ブロック(新潟市内の精神科病院による輪番)
夜間	新潟市は北ブロック

北ブロック夜間当番表

曜日	月	火	水	木	金	土	日
当番病院	南浜病院 または 県北ブロック病院	県北 ブロック病 院	南浜病院	南浜病院 または 主に新潟 ブロック の病院	主に新潟ブロックの病院 (一部県立新発田病院)		

イ 精神科救急情報センター

消防機関等からの要請を受け、救急患者のトリアージ、入院先の調整、外来受診、入院可能な医療機関の紹介を行う。

開設時期	平成26年3月31日
利用対象	消防や警察など専門機関のみが利用可能
開設時間	平日夜間:17時~翌日8時30分、休日:24時間

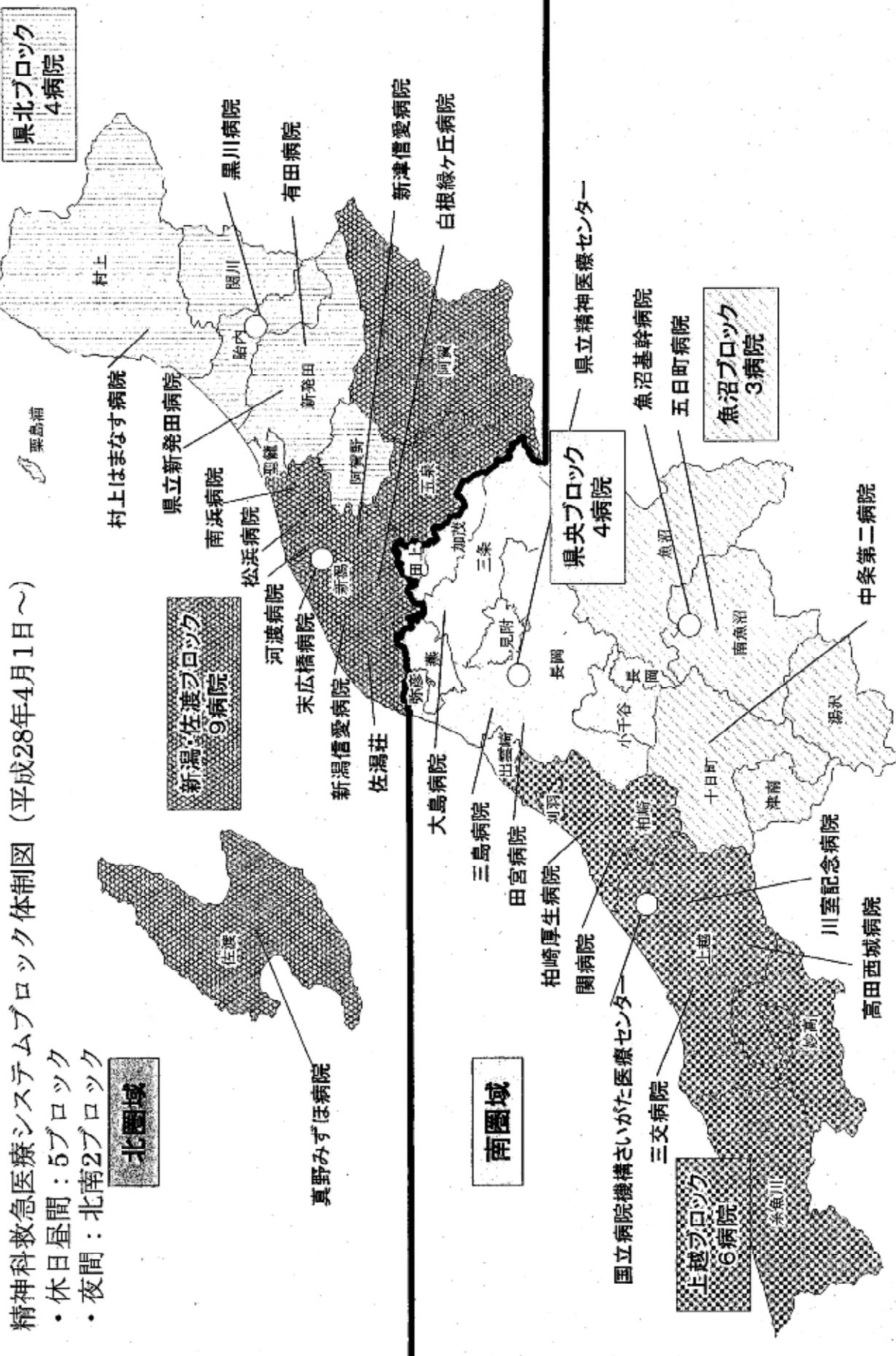
ウ 精神医療相談窓口

緊急に精神科医療が必要な方から相談を受け、助言を行い、受診可能な医療機関を紹介する。

開設時期	平成27年3月2日
利用対象	緊急に精神科医療を必要とする患者及び家族
開設時間	24時間

精神科救急医療システムブロック体制図 (平成28年4月1日～)

- ・休日昼間：5ブロック
- ・夜間：北南2ブロック



東北ブロック
4病院

新潟・佐渡ブロック
9病院

南圏域

上越ブロック
6病院

魚沼ブロック
3病院

県立精神医療センター
魚沼基幹病院
五日町病院
県立ブロック
4病院

中条第二病院

高田西城病院

川室記念病院

国立病院機構さいがた医療センター
三交病院

柏崎厚生病院
関病院

田宮病院
三島病院

大島病院

真野みずほ病院

北圏域

村上まなす病院

県立新発田病院

南浜病院

河渡病院

未広橋病院

新潟信愛病院

佐潟荘

松浜病院

新潟信愛病院

新発田

阿賀野

五反田

加茂

三上

三上

長岡

長岡

魚沼

南魚沼

湯沢

十日町

津南

小千谷

出雲崎

見附

長岡

長岡

三上

精神科救急医療システムの実績（休日昼間）

対応件数実績 年次推移

		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度 11 月末
電話のみ	新潟ブロック	69	66	42	77	104	107
	新潟市民再掲	51	52	31	62	72	75
	県全体	274	285	381	562	607	438
来院	新潟ブロック	110	110	96	103	108	85
	新潟市民再掲	86	84	87	85	88	72
	県全体	332	314	315	300	314	219
計	新潟ブロック	179	176	138	180	212	192
	新潟市民再掲	137	136	118	147	160	147
	県全体	606	599	696	862	921	657
新潟ブロックにおける新潟市民利用率		76.5%	77.3%	85.5%	81.7%	75.5%	76.6%

平成28年度 システム稼働状況（11月末まで）

	当番日数	稼働日数	稼働率	総対応数	稼働1日あたりの対応件数
新潟ブロック実績 (佐渡ブロック除)	81 日	66 日	81.5%	192 件	2.9 件
県全体5ブロック合計	439 日	258 日	58.8%	657 件	2.5 件

※稼働日数とは、当番日数のうち電話や来院のあった日をいう。

精神科救急医療システムの実績（夜間）

対応件数実績 年次推移

夜間部分2ブロック体制

夜間完全2ブロック体制

		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度 11月末
電話のみ	北ブロック	206	119	160	294	269	508
	新潟市民再掲	129	46	64	166	149	397
	県全体	320	210	633	843	969	1,122
来院	北ブロック	151	119	100	164	166	153
	新潟市民再掲	82	71	70	124	118	117
	県全体	336	308	248	333	316	278
計	北ブロック	357	238	260	458	435	661
	新潟市民再掲	211	117	134	290	267	514
	県全体	656	518	881	1,176	1,285	1,400
北ブロックにおける新潟市民利用率		59.1%	49.2%	51.5%	63.3%	61.4%	77.8%

平成28年度 システム稼働状況（11月末まで）

	当番日数	稼働日数	稼働率	総対応数	稼働1日あたりの対応件数
北圏域	244日	196日	80.3%	661件	3.4件
県全体5ブロック合計	488日	388日	80.0%	1,400件	3.6件

※稼働日数とは、当番日数のうち電話や来院のあった日をいう。

精神科救急情報センター対応状況

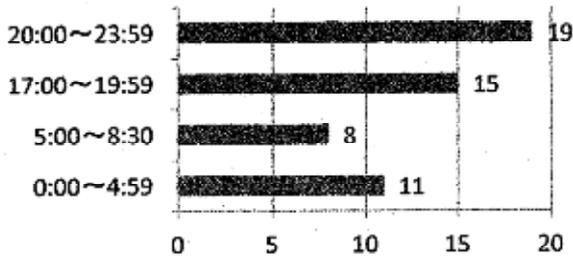
平成28年度（4～12月）

対応件数 107 件

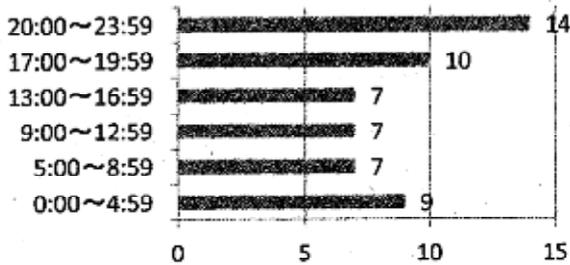
時間帯

平日

(件)



休日



対応時間

(件)

5分以下	15
6～10分	15
11～15分	9
16～29分	33
30分以上	35

対象者性別

(件)

男性	47
女性	53

対象者住所地

(件)

新潟市	66
新潟市以外	37

依頼元

(件)

救急隊	89
警察署	3
病院	11
クリニック	2
その他	3

精神科治療歴

(件)

現在治療中	精神科病院	17
	クリニック	36
	精神科以外	0
以前受診あり		16
受診歴なし		28

受診方法

(件)

救急車	60
自家用車	6
タクシー	0
公共交通機関	0

振り分け結果

(件)

輪番精神科病院受診	49
一般救急病院受診	11
輪番以外の精神科病院受診	11
警察通報助言	2
消防通報助言	0

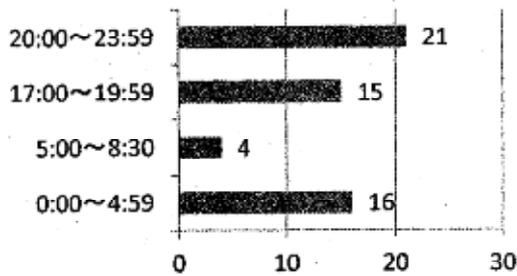
平成27年度

対応件数 127 件

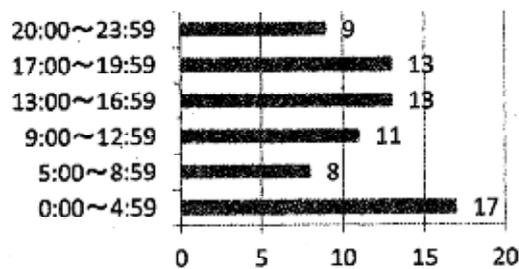
時間帯

平日

(件)



休日



対応時間

(件)

5分以下	30
6~10分	14
11~15分	17
16~29分	36
30分以上	28

対象者性別

(件)

男性	53
女性	64

対象者住所地

(件)

新潟市	81
新潟市以外	37

依頼元

(件)

救急隊	101
警察署	0
病院	15
クリニック	3
その他	8

精神科治療歴

(件)

現在治療中	精神科病院	28
	クリニック	43
	精神科以外	3
以前受診あり		19
受診歴なし		22

受診方法

(件)

救急車	38
自家用車	2
タクシー	0
公共交通機関	0

振り分け結果

(件)

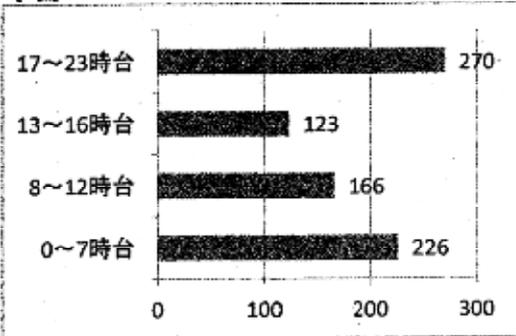
輪番精神科病院受診	41
一般救急病院受診	12
輪番以外の精神科病院受診	6
警察通報助言	3
消防通報助言	0

精神医療相談窓口対応状況

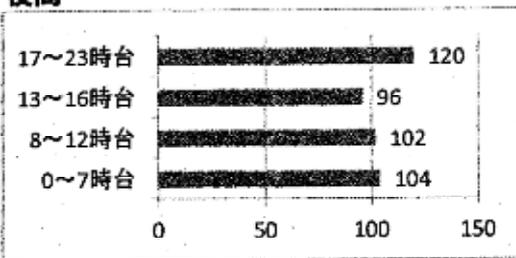
平成28年度（4～12月）

対応件数 1207 件

時間帯 (件)
平日



~~夜間~~ 正：休日



相談者 (件)

本人	男	392
	女	414
本人以外	男	179
	女	168

相談者住所地 (件)

新潟市	403
新潟市以外	526
不明	278

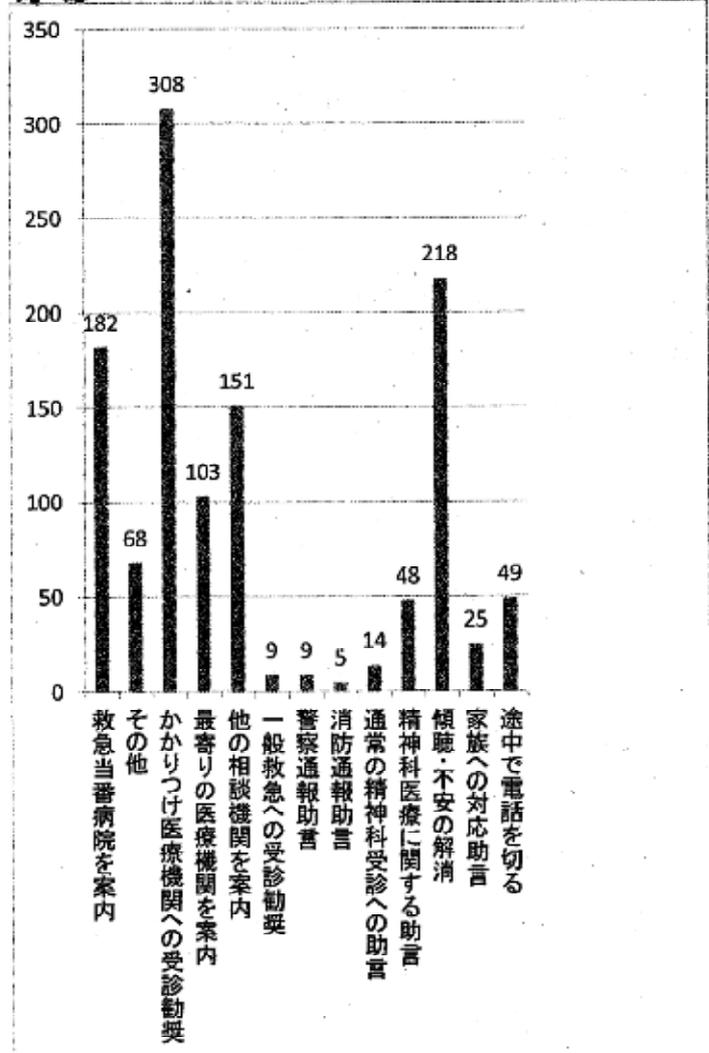
治療歴 (件)

現在治療中	711 (内緊急 56)
以前あり	140 (内緊急 29)
受診歴なし	241 (内緊急 33)

相談内容 (件)

精神科医療に関する相談	886
精神科医療以外の相談	252
酩酊	2
その他	67
自殺関連(再掲)	158

対応 (件)



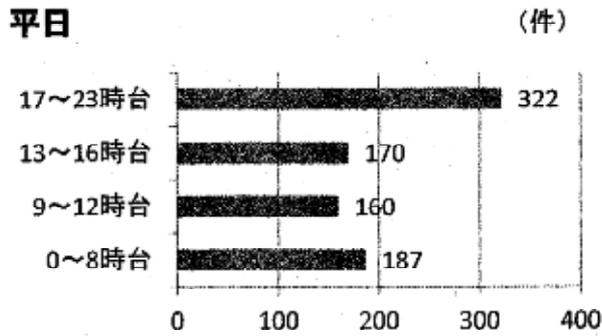
相談歴 (件)

あり	465
なし	543

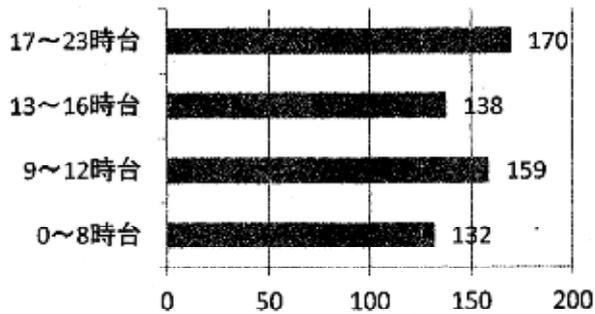
平成27年度

対応件数 **1438 件**

時間帯



休日



相談者 (件)

本人	男	396
	女	530
本人以外	男	190
	女	204

相談者住所地 (件)

新潟市	405
新潟市以外	352

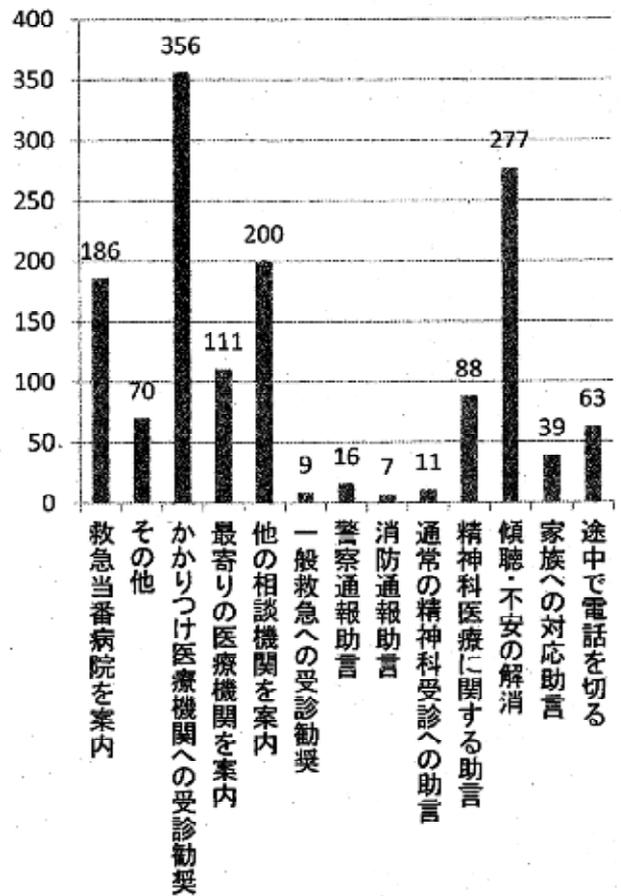
治療歴 (件)

現在治療中	809 (内緊急 61)
以前あり	124 (内緊急 12)
受診歴なし	196 (内緊急 28)

相談内容 (件)

精神科医療に関する相談	1023
精神科医療以外の相談	306
酩酊	9
その他	99

対応 (件)



7. 措置入院

(1) 目的

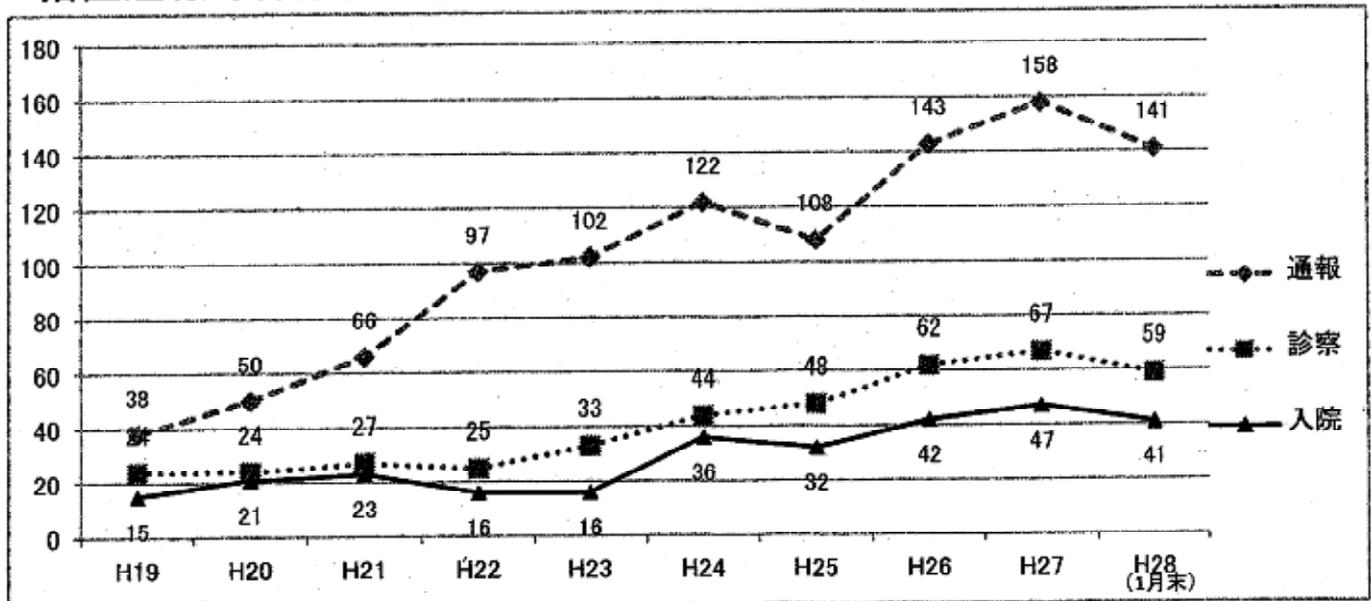
精神障がいを起因とする「自傷他害」を及ぼすおそれがあると認めた精神障がい者を精神科病院に入院措置し、精神障がい者の医療及び保護を図る。

(2) 実績

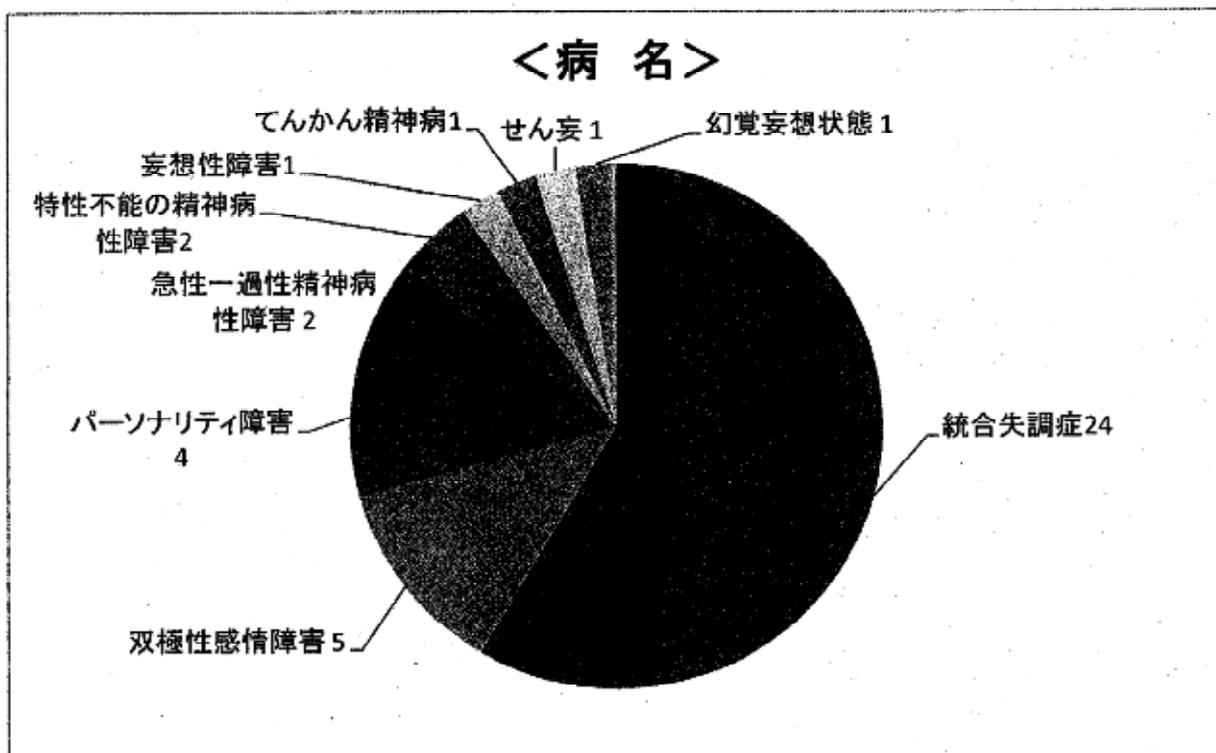
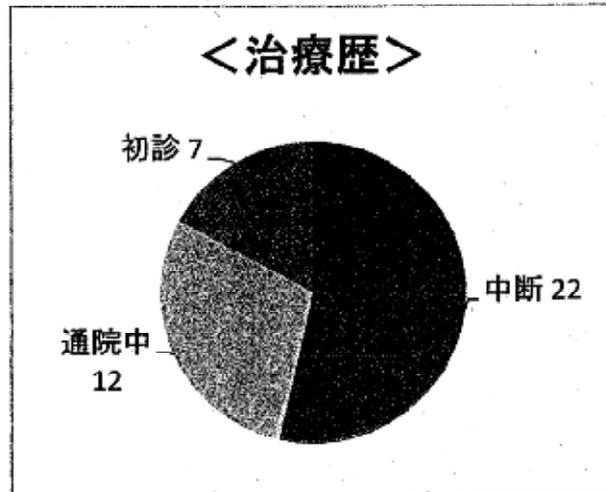
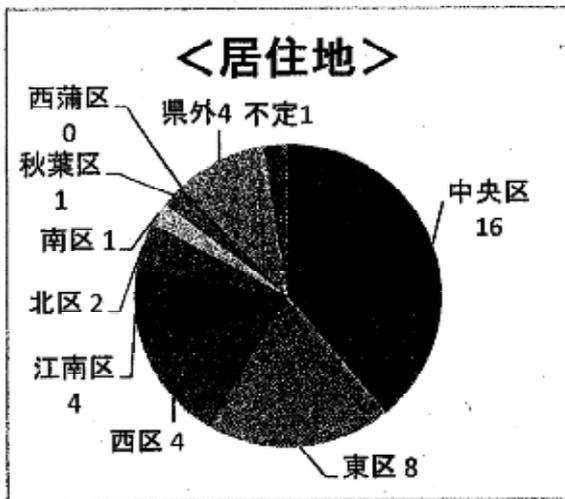
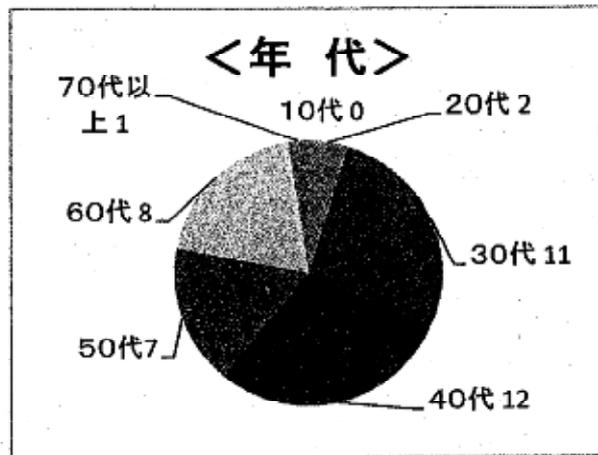
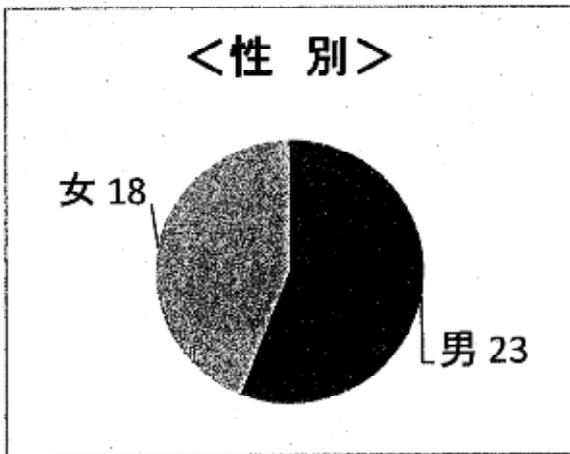
措置通報等種別実績

	平成26年度			平成27年度			平成28年度(1月末)		
	通報等 件数	診察 件数	措置 件数	通報等 件数	診察 件数	措置 件数	通報等 件数	診察 件数	措置 件数
一般人申請 (22条)	1	0	0	0	0	0	4	0	0
警察官通報 (23条)	55	44	30	63	46	29	53	46	34
検察官通報 (24条)	33	14	11	26	19	18	25	11	6
保護観察所長通報 (25条)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矯正施設長通報 (26条)	54	4	1	69	2	0	59	2	1
合 計	143	62	42	158	67	47	141	59	41

措置通報等件数経年推移



措置入院件数：41件（平成28年4月～平成29年1月末）



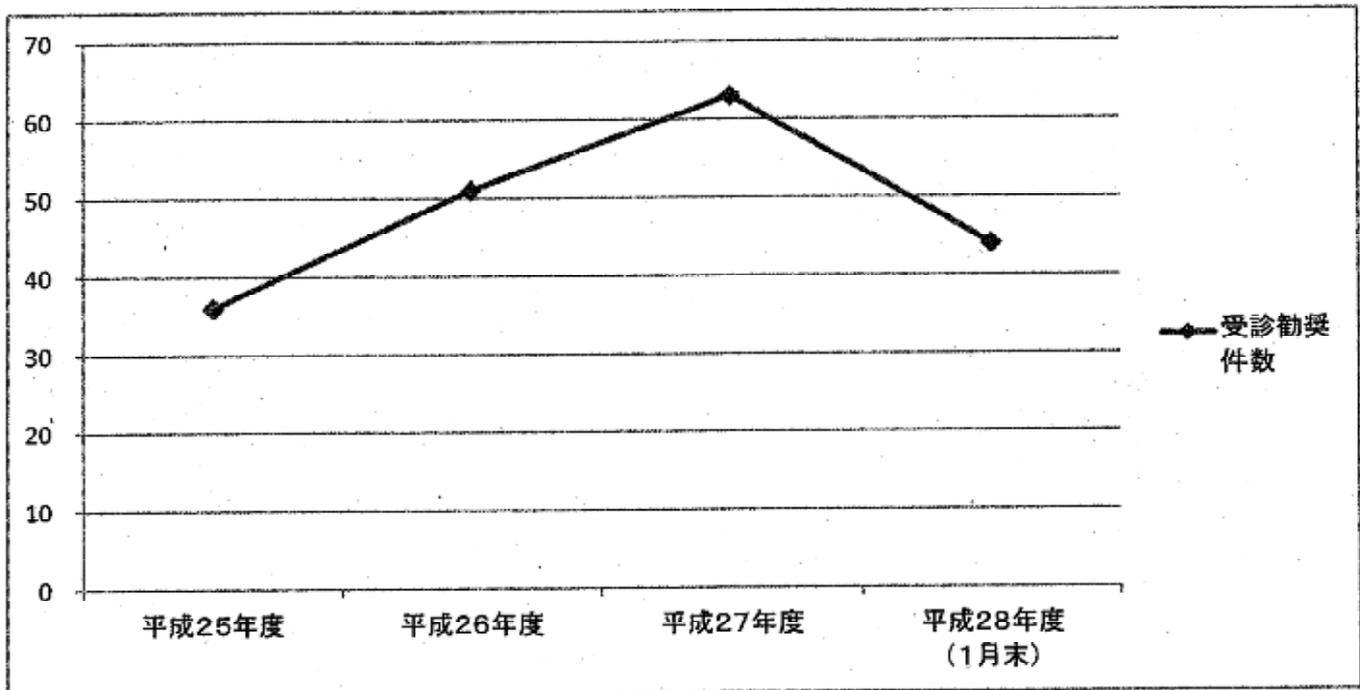
8. 受診勸奨

実績

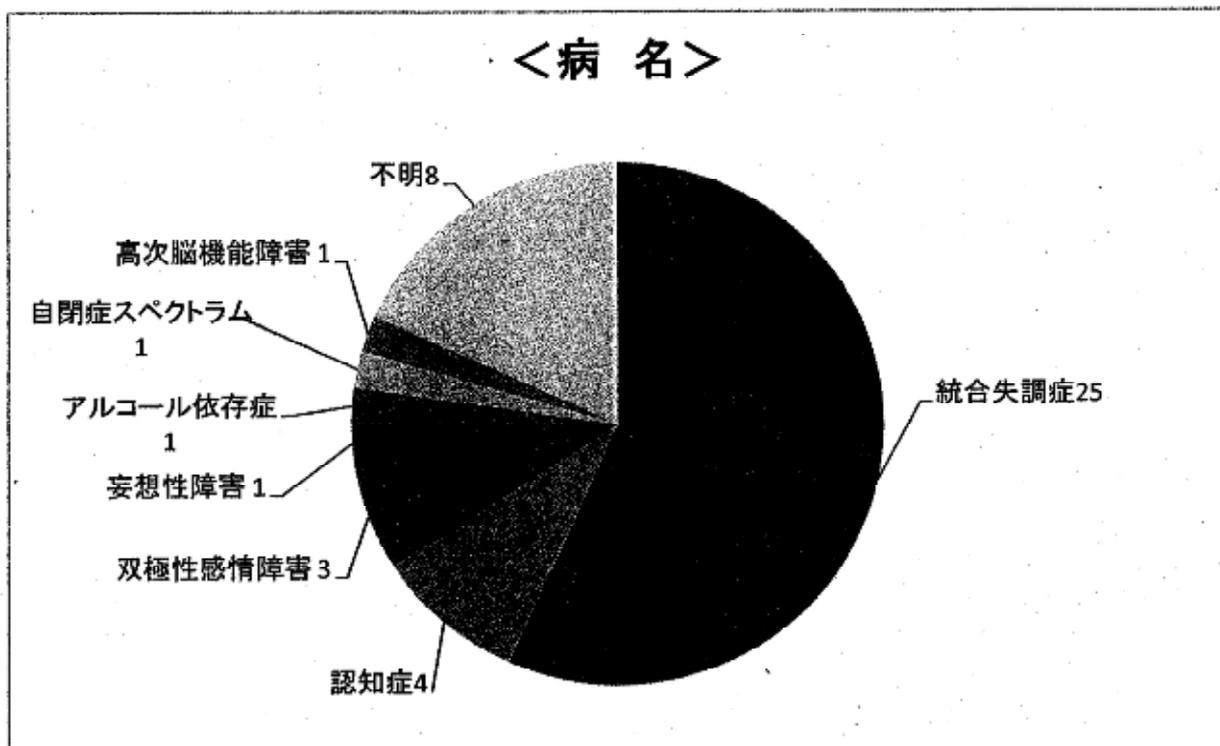
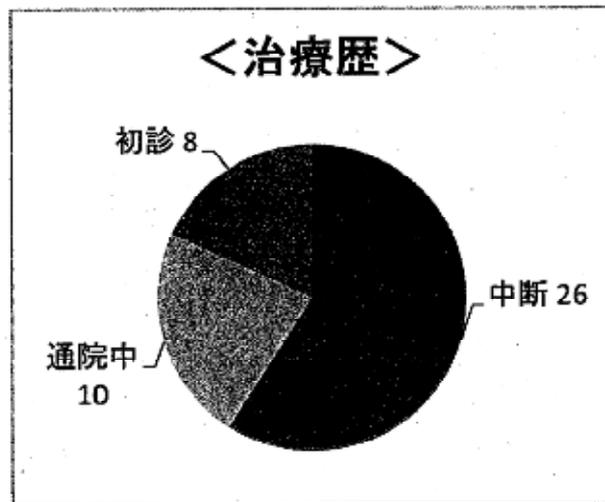
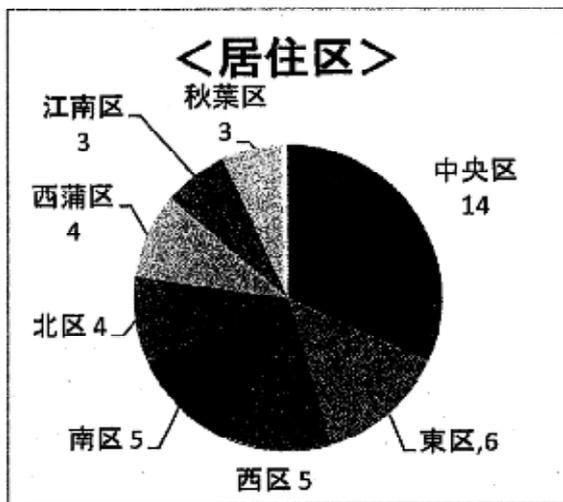
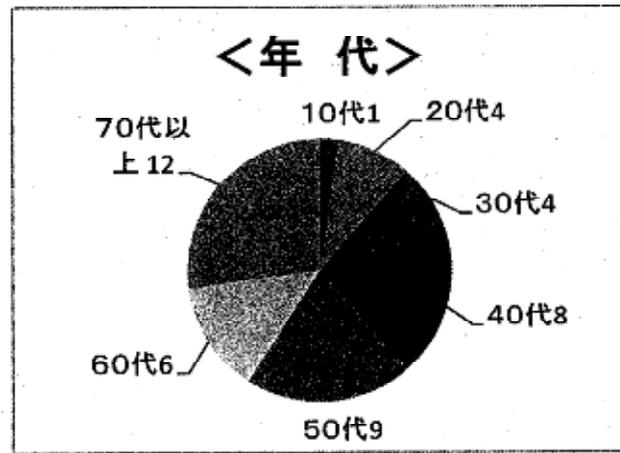
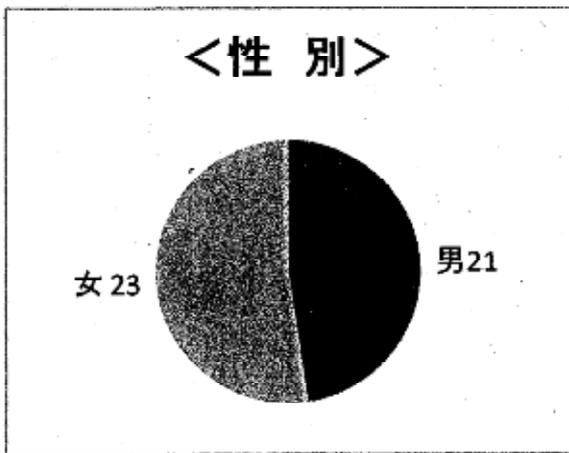
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (1月末)
受診勸奨 件数	36	51	63	44

※平成28年度見込み:53件

受診勸奨件数経年推移



対応件数：44件（平成28年4月～平成29年1月末）



9. 精神障がい者地域移行・地域定着支援事業

平成28年度

(1) 事業目的

精神障がい者が、住み慣れた地域で、本人の望む充実した生活を営めるよう保健、医療、福祉等の関係機関の連携のもとで、入院患者の地域移行、並びに、精神障がい者が安定した地域生活を継続するための支援を推進する。

(2) 事業内容

ア 体制整備

(ア) 精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会

【目的】 地域移行・地域定着をすすめるために、地域生活を支援する土壌をつくり、関係職員の人材育成と関係機関のネットワークの再構築を行う。

【運営方法】 官民協働、多職種で構成した運営委員により、連絡会の企画・運営を行う。

《委員構成》 ※8名で構成。

精神科病院の看護師、精神保健福祉士、相談支援事業者の相談支援専門員

基幹相談支援センター相談員、保健師、区役所ケースワーカー

※運営委員会は9回開催

【対象者】

市内精神科病院(総合病院含)職員、相談支援事業所職員、行政職員、その他

実施内容

	開催日	内容	参加人数
第1回	平成28年 9月15日 9月16日	「社会資源見学ツアー」 ①障がい福祉サービス事業所及び精神科病院の見学 ②グループワークとして、見学を終えての感想、参加者の所属する機関の現状、退院促進や地域で安心して暮らすための課題などに関する意見交換	全4コース 119名
第2回	平成28年 10月7日	「精神科病院情報交換会」 ①「障がいがある人もない人も共に生きるまちづくり条例」研修 ②地域移行等に関する意見交換	市内 10病院対象
第3回	平成28年 10月18日	「地域移行・地域定着支援研修会」 多機関、多職種による連携に関する、事例発表、ディスカッション、グループワーク	97名

(イ) ピア・サポーターによる普及啓発活動

【目 的】 精神障がい者が自らの体験を語ることで、市民の精神障がいへの理解を深め、生活者としての信頼を得るとともに、精神障がい者が、支援される側から、支援者として効果的な資源になり得ることを目指す。

実施状況

実施区	実施日	対象者	内容	参加者
中央区 (中央地域保健福祉センター)	8月4日	①民生委員 ②コミュニティ協議会 ③関係機関(地域医療機関、地域包括支援センター等)	【リカバリーストーリーを聴く】 ・あどばんす施設長 ・体験発表者(2名)	45名
東区 (東区自立支援協議会)	8月31日	①東区自立支援協議会委員 ②関係機関(地域包括支援センター、基幹相談支援センター等)	1部【リカバリーストーリーを聴く】 ・あどばんす施設長 ・体験発表者(2名) 2部【精神疾患を理解する】 ・こころの健康センター所長	57名
秋葉区 (秋葉区健康福祉課)	10月24日	①民生委員、児童委員協議会 会長・副会長 ②健康福祉課 職員	【リカバリーストーリーを聴く】 ・あどばんす施設長 ・体験発表者(2名)	30名

(ウ) アパート暮らし体験事業

民間アパート1室を借り上げ、一人暮らしを想定した体験部屋を用意し、日帰り利用または体験宿泊をすることで、アパートでの一人暮らしがどんなものか具体的なイメージをもってもらうことを目的とした事業。「地域生活支援センターふらっと」に委託。

平成25年度から、障害者総合支援法個別給付受給者は利用料免除とした。

【対象者】

- ・障害者総合支援法による地域移行支援または地域定着支援を利用されている方
- ・新潟市内の精神科病院に入院中で主治医の同意のある方
- ・新潟市内の障害者総合支援法に定める障害福祉サービス事業所管理者等から推薦のある方

実績

実施年度	宿泊利用	日帰利用	見学	利用者のうち退院者
平成27年度	24泊(10名)	5名	55名	1名
平成28年度(4~1月)	11泊(10名)	10名	11名	0名

10. 精神保健福祉関係事業歳出予算

【保健衛生部こころの健康センター】

(単位:千円)

事業名	平成28年度 当初予算額A	平成29年度 当初予算額B	差引(B-A)
こころの健康センター事業費	3,383	3,332	▲ 51
ひきこもり支援センター運営事業	16,284	16,284	0
精神科救急医療システム事業	27,990	28,208	218
精神医療事業費	22,877	28,540	5,663
精神障がい者地域移行・ 地域定着支援事業	641	446	▲ 195
自殺総合対策事業	28,165	33,008	4,843
その他	23,695	24,427	732
合計	123,035	134,245	11,210

【福祉部障がい福祉課】

(単位:千円)

事業名 ※三障がい共通事業は除く	平成28年度 当初予算A	平成29年度 当初予算B	差引(B-A)
精神障害者保健福祉手帳交付事業	164	408	244
自立支援医療費支給費	972,480	987,107	14,627
精神障がい者入院医療費助成費	20,312	17,352	▲ 2,960
精神障がい者通所作業訓練所 通所交通費助成事業	10,168	12,462	2,294
地域活動支援センター(I型)事業	44,155	44,775	620
合計	1,047,279	1,062,104	14,825

※参考資料2参照

